

油屋町くんち瓦版

編集担当 山之内 空一

写真提供 Saori 山田

平成28年10月8日 第8版

十月八日は「雨に泣く」

雨、でもそれなりの成果を出した油屋町

平成二十八年十月八日は予報では雨。朝六時、起こしシャギリ。恒例の写真撮影。八坂神社は近くで、練習場所でもあるので、采、根曳は昨日とは違う意味で、気合が入っていた。八坂神社、公会堂と雨はさほど気にならなかった。「今日は天気は持つかも。」期待は裏切られた。公会堂の踊場から退場してきた、その時、スコールのような雨が降ってきた。



雨の合間をぬって庭先に行く

山下さん考案のビニールを急いで船に被せた。先に出た傘鉾と先曳きは公会堂の横のビルの駐車場で雨宿りをした。次は千々石場所の庭先だが、この雨では無理だ。出しをビニールで覆った川船が雨宿りの場所に来た。その頃から雨は小降りになり、結局、無理と思われた千々石場所、傘鉾、シャギリ、川船の演技



ができた。中日の庭先のメインである千々石場所、親和銀行本店、中央公園は運良く雨が小降りとなり、どうにか庭先をすることができた。中央公園が終わると、築町を通過して、アーケード

ドに向かった。庭先ルートの変更である。アーケードの中は雨もあり、人でいっぱいだった。庭先担当者は、変更したルートの呈上札が見つからず、慌てた場面もあったが、アーケードを縦、横に打ち込み、最後はハマクロスの角で、船回しを披露して、中日の庭先は終了した。

